

旅立ちの時

第 1 回武雄高校卒業式

新しい季節の訪れが武高坂の桜の木にも感じられる 3 月 1 日（月）第 1 回武雄高等学校卒業式を挙行、279 名の卒業生が新たな旅立ちの時を迎えました。多くの来賓の方々に参列していただき、第 1 回の卒業式にふさわしく厳粛にとり行われました。式では、第 1 号卒業生が学年主任から呼名、竹森校長より卒業証書を授与され、続けて、担任から呼名された卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

校長からの「新生武雄高校で培った、『高志博学』の精神を以って、自分の可能性を高め世の中に貢献してくれること、『足ることを知る者は富めり』の精神で人との結びつきの強い社会への転換に貢献してくれることを期待します」との激励に、卒業生を代表し、前生徒会長が「一期生として、仲間と切磋琢磨し、一生懸命に自分を磨いてきた。『質実剛健にして報恩感謝の誠を尽くす』という今までの武雄高校の校是に加えて、新武雄高校の実践目標である『高い志と未来を切り拓く』人材となるために、何事にも恐れず、挑戦していきたい」と力強く答辞を述べました。



職員室の一日

武雄高等学校教頭

年度末も押し迫り、職員室ではあわただしい毎日が続いている。ここでは、生徒諸君があまり知らない、職員室の様子と、先生方の年度末の仕事について紹介したい。

職員室は、ほぼ毎日 7 時過ぎに開錠される。私はまずパソコンに電源を入れる。教育委員会等のメールをチェックするためである。最近は教育委員会からの通知等もほとんどメールで送られてくるので 1 日に何度もメールチェックが不可欠である。その後、三々五々出勤してこられる先生方と朝の挨拶をしながら今日一日の仕事の段取りをつけていく。欠席連絡の電話の対応にも追われる。

8 時 15 分からは職員朝礼がはじまる。全職員揃って「おはようございます」の後、その日の学校行事の確認があり、学年ミーティングが行われる。このあたりは分刻みのスケジュールである。

先生方は、授業の空き時間に教材の下調べをしたり問題を解いたり（これを教材研究という）、授業の展開計画（これを学習指導案という）を作ったり、教材のプリントを作ったり、入試問題を解いたりそれぞれのペースで仕事を進めていかれる。職員室のあちこちでは、教材をどう教えようかという教科内の打ち合わせも開かれている。生徒のいないときの職員室は概して静かである。

昼間から夜にかけては、年度末ということもあって、職員室は年度末特有の仕事が進んでいる。先生方には生徒の一年間の成績、出席状況等を一覧表に作っていく作業がある。昔は表もすべて手書きで、縦横の計算は電卓であったが（もっと以前は算盤でやったそう）、今はエクセルシートの入力で済むので時間的には短縮されているが、それでも神経を使う作業であることに変わりはない。一覧表ができあがると、指導要録の記入にはいる。指導要録というのは生徒一人ひとりの修得単位や行動の記録等を手書きで綴っていく書類で、書き終わったら校長の印鑑をもらって金庫に保存する。基本的には永久保存の書類なので慎重に作業しなければならない。下書きを書いて、数字をチェックし、原本に記入していくのは担任先生の仕事であるが、この時期は残業に続く残業をしなければ終わらない。

静かな夜にペンの音だけが響いていく。かくして職員室の夜は更けていく。

自己実現をめざして：武高さくらプラン

中学・高校合同探究発表会

2月4日(木)に、武雄青陵中学校と合同で、探究発表会がありました。中1生はアナウンサーとレポーターに扮して、テレビ風アレンジした『焼き物の作り方について』の体験レポート、中2生は、ドキュメンタリー番組を参考に、職場体験を通して学んだことを映像にまとめ発表しました。3年生の自然探究では、化学の中和滴定の説明を授業風の劇にして発表し、国際探究では、立命館アジア太平洋大学の留学生との交流を通して学んだことをプレゼンテーションしました。



高1生は、探究入門で、関心のある新聞記事について自分の意見をまとめ作成したレポートを代表者2名が、高2生文系は志望する学部・学科にかかわるテーマについての課題研究をクラス代表4名がそれぞれ発表しました。理系は佐賀大学と連携したサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)において研究した工学、化学、農学、医学の4講座の内容をレポートにまとめプレゼンテーションしました。

《 発表内容 》

- ・1年： 「ES細胞とiPS細胞」
「東アジア共同体」
- ・2年文系： 「戦争によって自由はもたらされるか」
「地域を活性化するにはどうしたらよいか」
「日本人はなぜ『普通』を好むのか」
「ダム建設は必要か」
- ・2年理系： 工学班「エレクトロニクス・ものづくり講座
～ライトレーザーロボット製作とプログラミング～」
化学班「バイオマス廃棄物を用いた金属の回収」
農学班「カビの染色体地図を作ろう～ゲノム研究へのご招待～」
医学班「神経が動く仕組みをカエルから学ぼう」



《 当日の感想 》

- ・知らなかったことを知ることができたり、考えさせられるものもあったので、もっと自分の周りにある問題に目を向けていこうと思った
- ・中高一貫ということを生かした発表会で、このように交流する機会があってよかった
- ・どの発表も工夫を凝らしてあり、自分の考えを伝えることの大切さに気付くことができ、刺激になった
- ・中学生の発表は発表形態にも聞く人を飽きさせない工夫があり楽しかった
- ・難しい内容でも、発表者は自分の意見をしっかり持ち、それを発信できる術がわかっていることがすごいと思った
- ・これからもプレゼンをする機会があると思うので、今回の発表はとてもいい経験になった
- ・発表会に向けて多くの先生方にお世話になっていることに気づくことができた

武雄高等学校吹奏楽部 第34回

定期演奏会

平成22年

3月28日(日)

13:00開場 13:30開演
(開演前のお楽しみもあります)
武雄市文化会館大ホール

入場無料

吹奏楽部は、夏のコンクールが終わったあとから3月の定期演奏会に向けて企画・運営をスタートし、練習を重ねてきました。学校外での発表の場が少ない私たちにとってこの演奏会は1年間の活動の成果を見て頂く大切な演奏会です。今年は武雄青陵中学校吹奏楽部をゲストに招き、中学生と高校生の合同演奏も一部加えています。

日頃私たちの活動を支えて下さっている方へ感謝を表し、一人でも多くのお客様に感動して頂けるようなステージにしたいと思っておりますので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

部 クラシック ステージ
交響詩「ドン・ファン」(リヒャルト・シュトラウス作曲)他
部 武雄青陵中学校ステージ
海の男達の歌(ロバート・W・スミス)他
部 ポピュラーステージ